

## Ⅳ 第3学年の結果の考察

第3学年において学習した結果の実態を診断的にとらえ、今後の学習指導に役立てるため、「診断的性格を帯び福島県で標準化した学力検査問題」の作成をとりあげた。

この学力検査問題の標準化のため、標本校を選定しテストを実施した。その結果の正答率、および誤答分析を行なった結果などの資料によって、この学年における指導上の問題点について考察を試みている。

それら結果の考察を進める前に、テスト問題の作成にあたっての基本的な考えをのべ、結果の考察をいっそう意味のあるものにする。

- (1) 指導要領に示されている第3学年の内容についての基礎的能力をとらえられるようにする。
- (2) 理解の深さ、およびつまずきの箇所を診断できるようにする。
- (3) 子どもの算数科の学力について、概観的に

且つ、教科内における学力の差異をも診断的にとらえられるようにする。

以上のような問題作成にあたっての基本的な考えをふまえ、3学年の算数科の学力をとらえるように、いくつかの領域・分野を設定し、それぞれの領域・分野のねらいにあった問題を網羅的に、漏れのないように作成し、当学年の算数科の学力を診断的にとらえるようにした。

領域・分野は、2学年と同様、学習指導要領に示された領域とし、「数と計算」に関する内容が多くなっているため、この領域を2つに分け、つぎのような5つの領域とした。

- 数と計算の意味の理解……数の概念の理解  
加減を適用して問題を解く能力
- 計 算……計算についての理解と技能
- 量と測定……量の概念と測定の意味理解
- 図 形……図形の概念の理解
- 数量関係……数量の関係についての理解

### 1 問題のねらいと正答率

[ I ] ( 40 分 )

領域	問題のねらい	問題番号	正 答 率		
			小 問	大 問	領 域
計 算	1. 整数の加法の計算	1	(1)	93.6	92.8
			(2)	92.0	
	2. 整数の減法の計算	2	(1)	89.2	75.8
			(2)	70.6	
			(3)	67.7	
	3. 乗法九九を用いての計算	3	(1)	97.4	96.1
(2)			96.2		
(3)			94.8		